

---

# 生きていない

春海

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】  
生きていない

【コード】  
N0055G

【作者名】  
春海

【あらすじ】  
あたしは生きているのに生きていないんだ

あたしはいつ死ぬのだろうか。  
もう何年も生きている心地がしない。

バイトで次のシフトが入っている日まではとりあえず生きる。  
大学で次のテストがある日まではとりあえず生きる。

そんな生き方をしています。

だから自分のことには本当に執着がなくて、未来のことなんて考えたいとも思わない。

考えたって、どうせその日まで生きていないだろうって思ってしま  
う。

今あたしは大学二年。春が来れば三年になる

四年になったら卒業。

それ以降も生きている自分を想像できない。

楽しいことはたくさんあるよ。

好きな男の子だっているし、大切な家族も、友達もたくさんいる。

けれど、自転車で道路を走っていると、前から来るトラックの方に  
ハンドルを切りそうになるんだ。

涙が出るほど笑っていても、死という概念があたしから離れない。

いつもどんな時も死という選択肢があたしの手にはあるんだって感  
じている。あたしに未来は必要なのだろうか。

やりたいことなんてない。

なりたい自分もない。

ただただ日々の生活がうまくいくように生きている。

悲しいことに出会わぬように、苦しい目に会わぬように、そうやっ  
て生きている。

困っている人がいたら助け、悩んでいる人がいたら励まし、そうや  
って生きている。

でもあたしが生きている目的がわからない。なぜ生きなければいけ

ないのがわからない。

生きているのが辛いというよりは、何も感じないだけ。  
意味がないだけ。

明日なんて知らない。

欲しいものなんてない。

なんにもなくていいんだ。

友達が将来のために頑張っている姿を見ると胸が苦しくなる。

あたしには将来のために犠牲にしたい今などない。

将来なんていらんだから。

じゃああたしはどうやって生きればいいのか。

みんなが自分の幸せのために生きている今、あたしは何のために生きればいいのか。

失ってもいいものなんて何もなし。

全部大切だから。

ひとつだけいっなくなしてもいいと思えるのは、自分自身。

自分自身ならいつ捨ててもいい。

今でも構わない。

こんなあたし生きていない。

生きているということは何かを残そうとすることだ。

誰かを愛そうとすることだ。

その必要性を感じないあたしは、やっぱり生きていない。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0055g/>

---

生きていない

2010年12月8日04時42分発行